

第3章 二つの世界大戦と日本 2 政党政治の時代

1 政党政治と国際協調 (p. 108~109)

本格的な政党内閣の成立

1918年 [] 内閣成立 ([] とよんで国民は歓迎)

- [] による本格的な政党内閣
- [] の展開
鉄道拡張, 産業と通商貿易の奨励, 教育施設の改善拡充, 国防の充実
- [] 制の導入
→選挙後の納税資格を引き下げ
直接国税 10円 → [] 円以上へ
- 原首相は東京駅で刺殺される

ワシントン会議と協調外交

東アジア・太平洋地域での日本の勢力伸張を [] が警戒

- 1921~22年 []
日本首席全権: [] 海相 (高橋是清 [政友会] 内閣)
- (1) [] : 日・米・英・仏が調印
[] 地域における相互権利の尊重
→ [] は廃棄
- (2) [] : 日・米・英・伊・蘭・中・ベルギー・ポルトガルが調印
[] の主権尊重, 領土保全, 門戸開放, 機会均等を確認
→ [] は廃棄
→日本は [] の旧ドイツ権益を中国に返還
- (3) [] : 日・米・英・仏・伊が調印
[] 保有比率を設定
米 [] : 英 [] : 日 [] : 仏 1.67 : 伊 1.67
- アメリカ主導の [] が成立
→太平洋・東アジア地域における列強の協調
→日本の中国侵略を制約
- [] 外相の [] 外交
→イギリス・アメリカと協調しながら中国内の日本権益確保